

(様式第1号)

令和元年 6月 30日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 認定介護福祉士養成研修導入

科 目 名 : 認定介護福祉士概論

単 位 数 : 1単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修導入

団体名 : 一般社団法人愛知県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2 桜華会館内

電話 : 052-202-8260

FAX : 052-202-8280

E-mail : info@aichi-kaigo.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 会長 下山久之 印

申請責任者 : 下山久之

記

○認定介護福祉士研修認証申請書(別紙1~3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	認証番号

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	2018年10月31日
申請団体名	一般社団法人愛知県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 下山久之
申請責任者職名	会長 下山久之
申請責任者氏名	下山久之
団体住所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2 桜華会館内
同 Tel・Fax	Tel : (052)-(202)-(8260)
メールアドレス	Fax : (052)-(202)-(8280) E-mail <u>info@aichi-kaigo.jp</u>
申請対象の領域	領域名 : 認定介護福祉士養成研修導入
科目名 (単位数)	科目名 : 認定介護福祉士概論 (1 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修導入
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	認定介護福祉士養成研修導入	
科目名	認定介護福祉士概論	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修導入	
研修目標	<p>○研修全体の導入として、認定介護福祉士に求められる役割、本研修で獲得すべき知識・実践力と、本研修全体の組み立てについて理解する。</p> <p>○介護現場の様々な問題がなぜ起きるのかについて、介護観・支援目標の共有化など、チーム運営の視点で把握するとともに、自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を理解する。</p> <p>○自ら考える力・自ら学ぶ力の重要性を改めて確認する。</p>	
到達目標	<p>① 認定介護福祉士養成研修の体形を理解し、学習計画を立てる。</p> <p>② 認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できる。</p> <p>③ 介護現場でおきる問題について、チーム運営の視点で分析できる。</p> <p>④ 自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できる。</p> <p>⑤ 自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚する。</p>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>課題学習（7時間）</p> <p>「認定介護福祉士の社会的使命と介護の専門性」（2時間）</p> <p>1. 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割の変化</p> <p>2. 認定介護福祉士に求められる役割と</p>	<p>課題学習（7時間）</p> <p>テキスト『認定介護福祉士概論』、『介護福祉士の職務の明確化と認定介護福祉士について（提言書）』を読み、下記の内容について理解する。（2時間）</p> <p>○地域包括ケアシステムと医療・介護連携等</p> <p>○介護の専門性、介護福祉士資格制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国地の介護職集団と介護職チームの形成過程を理解する。 ・「日常生活を営むことへの支援」の際、介護職が担う職能集団としての役割と機能、支援の意味について考える。 ・介護福祉士資格制度、認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用いて学ぶ。 <p>○地域包括ケアシステムにおける認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役</p>

<p>実践力（2時間）</p> <p>「チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ」（3時間）</p> <p>3. チーム運営と職種間連携</p>	<p>割に必要な実践力を学ぶ。</p> <p>○尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、根拠ある生活支援、チームアプローチ、チーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携、等。（2時間）</p> <p>参考図書『介護福祉士の組織・制度論』を読んだうえで、自職場での体験をもとに下記の内容について考え、レポートを作成する。（3時間）</p> <p>○チームケア・チームアプローチとは何か、チームを構成する各職種の役割・機能の理解、チームにおける介護観・援助目標の共有化、チーム内・職種間の調整、コンフリクトマネジメント、チームメンバーとのコミュニケーション等</p> <p>○ケーススタディ（下記からテーマを選ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 他職種との有機的な連携方法 ② 同一職種内における価値観（介護観・看護観等）の相違 ③ チームメンバーとのコミュニケーション ④ 地域生活の支援と地域連携
<p>集合学習（8時間）</p> <p>1. 認定介護福祉士とは何か（1時間）</p> <p>2. 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割（1時間）</p>	<p>集合学習（8時間）</p> <p>8：45～9：00 オリエンテーション</p> <p>9：00～9：45 担当：下山</p> <p>1 認定介護福祉士とは何か（1時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>テキスト『認定介護福祉士概論』を読み、以下の内容について理解を深める。</p> <p>（講義形式）</p> <p>○認定介護福祉制度の目的と概要</p> <p>○研修全体のカリキュラム、機構について</p> <p>●講義 45分</p> <p>9：45～10：30 担当：下山</p> <p>2 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割（1時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>○地域包括ケアシステムと医療・介護連携等</p>

		<p>○介護の専門性、介護福祉士資格制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の介護職集団と介護職チームの形成過程を理解する。(講義形式) ・「日常生活を営むことへの支援」の際、介護職が担う職能集団としての役割と機能、支援の意味について考える。 ・介護福祉士資格制度、認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用いて学ぶ。 <p>●講義 45分</p> <p>10：30～10：45 休憩</p> <p>10：45～11：30 担当：下山</p> <p>3 認定介護福祉士に求められる役割と実践力（1時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>○地域包括ケアシステムにおける認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役割に必要な実践力を学ぶ。</p> <p>○尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、根拠ある生活支援、チームアプローチ、チーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携、等（講義形式）</p> <p>※次の4の「介護現場における様々な問題とその要因」との関係に留意しながら理解を進める。</p> <p>●講義 45分</p> <p>11：30～12：40 担当：下山</p> <p>4 介護現場における様々な問題とその要因（1.5時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>テキスト『認定介護福祉士概論』を読み、上記の内容に関する自職場での体験をもとに、演習を行う。チームの運営に係る課題と要因を抽出し、チームの運営に何が必要となるのかを考える。</p> <p>（講義形式と演習）</p> <p>○職種間または組織間に起こりやすい問題、利用者への関わり方や介護観の相違により起きる問題</p> <p>※介護職一般の問題よりも、職種間連携や介護職チーム運営、後輩育成等、チームリーダーとして直面する問題に焦点を</p>
<p>3. 認定介護福祉士に求められる役割と実践力（1時間）</p>		
<p>4. 介護現場における様々な問題とその要因（1.5時間）</p>		

	<p>当て理解を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 <p>12:40～13:40 昼食休憩</p> <p>13:40～14:50 担当：下山</p> <p>5 チーム運営と職種間連携（1.5時間）</p> <p>5 チーム運営と職種間連携（1.5時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>テキスト『認定介護福祉士概論』を読み、上記の内容に関する自職場での体験をもとに、演習を行う。チームの運営に係る課題と要因を抽出し、チームの運営に何が必要となるのかを考える。</p> <p>（講義形式と演習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームケア・チームアプローチとは何か、チームを構成する各職種の役割・機能の理解、チームにおける介護観・援助目標の共有化、チーム内・職種間の調整、コンフリクトマネジメント、チームメンバーとのコミュニケーション等 ○ケーススタディ <ul style="list-style-type: none"> ① 他職種との有機的な連携方法 ② 同一組織内における価値観（介護観・看護観）の相違 ③ チームメンバーとのコミュニケーション ④ 地域生活の支援と地域連携 <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 <p>15:00～16:30 担当：下山</p> <p>6 チーム運営と求められるリーダーシップ（2時間）</p> <p>6 チーム運営と求められるリーダーシップ（2時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーダーシップ（講義形式と演習） <ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員やユニットリーダー等に求められるリーダーシップと認定介護福祉士に求められるリーダーシップの違いについて学ぶ。 ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚
--	---

	<p>7. 研修振り返りと事務連絡</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分 <p>16:30~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一日の振り返り (20分) ●終了課題と提出方法の説明 (10分)
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> ■集合学習 (集合研修) 8時間 ■課題学習 (通信研修) 7時間 <p>先に課題学習 (通信研修) 7時間を行い、その課題 (レポート等) を事前に事務局へ提出し、集合学習 (集合研修) 8時間では、課題学習で取り組んだレポートを基にしたグループワーク等の演習を交えて進めていく。</p>	
研修時間	15時間 (集合学習として8時間、課題学習として7時間)	
修了要件	<p>課題学習における課題を提出し、集合学習のすべての時間に出席し、終了検定課題であるレポートを提出し、その内容が下記の修了要件を満たしていることを確認する。ただし、やむを得ない理由での遅刻・早退がある場合、補講又はレポート提出をもってその不足分を補うこととする。やむを得ない理由での遅刻・早退は30分以内とし、30分を超える遅刻・早退は認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認定介護福祉士養成研修の体形を理解していること ② 認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できること ③ 介護現場で起きる問題について、チーム運営の視点で分析できること ④ 自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できること ⑤ 自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているのかを自覚できていること 	
講師要件 (講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・修士課程を修了している者 	
(2) 受講者について		
受講対象 (受講要件)	<p>(1) 次のア～ウのいずれをも満たしていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 介護福祉士資格取得後5年以上 (実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる) イ 介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100時間以上の履歴を有していること。 ウ 研修実施団体の課すレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。ただし、機構の定める研修を受 	

	<p>講している場合は免除する。</p> <p>(2) 次のエ又はオを満たすことが望ましい。</p> <p>エ 介護職の小チーム（ユニット等、5～10名の介護職によるサービス提供チーム）のリーダー（ユニットリーダー、サービス提供責任者）としての実務経験を有すること。</p> <p>オ 居宅、居住（施設）系サービス双方での生活支援の経験があること。</p>
修了評価（習得度、研修成果）	<p>レポートにより下記の修了要件を満たしていることを確認する。</p> <p>① 認定介護福祉士養成研修の体形を理解していること</p> <p>② 認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できること</p> <p>③ 介護現場で起きる問題について、チーム運営の視点で分析できること</p> <p>④ 自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できること</p> <p>⑤ 自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているのかを自覚できていること</p>
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	<p>30名</p> <p>30名に対し講師1名、1名のファシリテーターを配置する。</p>
開催場所（都道府県）	愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2 桜華会館

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2019年11月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 桜華会館 (愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2)
	②
	③
(2) 講師	下山久之 (愛知県介護福祉士会会長) ・講師要件 大学にて介護福祉士養成課程の教員を務めているおり、介護福祉に関する論文を執筆していることから「当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者」に該当すると判断する。 また「修士課程を修了していることが望ましい」に該当する。
担当、氏名及び略歴	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究所博士後期課程修了 博士 (社会福祉学)
	同朋大学社会福祉学部社会福祉学科教授
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	愛知県介護福祉士会事務局 事務局長1名 事務員1名 会長・副会長1名 認定介護福祉士担当理事2名 協力員 (愛知県介護福祉士会会員) 3名
研修の企画運営に関する諸規程	愛知県介護福祉士会研修運営に関する規程
研修管理責任者職名	愛知県介護福祉士会会長
研修管理責任者氏名	下山久之
機構問合先部署	一般社団法人愛知県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵
機構問合先電話番号/FAX	電話 052-202-8260 FAX052-202-8280
機構問合先 e-mail アドレス	info@aichi-kaigo.jp
受講問合先部署	一般社団法人愛知県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵
受講問合先電話番号/FAX	電話 052-202-8260 FAX052-202-8280
受講問合先 e-mail アドレス	info@aichi-kaigo.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	愛知県介護福祉士会 研修事業部
受講履歴の管理方法	愛知県介護福祉士会 研修事業部・事務局により受講路歴をパソコンにて管理する。
受講履歴の証明	科目修了ごとに修了証を発行する。
管理責任者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵

管理担当者氏名	事務局長 池田久恵
---------	-----------

時間	テーマ	講義・演習等	備考、留意点
8:45~9:00	オリエンテーション		
9:00~9:45	1. 認定介護福祉士とは何か (担当:下山)	講義形式 ○認定介護福祉士制度の目的と概要 ○研修全体のカリキュラム、機構	テキスト『認定介護福祉士概論』
9:45~10:30	2. 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割 (担当:下山)	講義形式 ○地域包括ケアシステムと医療・介護連携等 ○介護の専門性、介護福祉士資格制度 ・我が国の介護職能集団と介護職チームの形成過程を理解する。 「日常生活を営むことへの支援」の際、介護職が担う職能集団としての役割と機能、支援の意味について考える。 ・介護福祉士資格制度、認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用いて学ぶ。	
10:30~10:45	休憩		
10:45~11:30	3. 認定介護福祉士に求められる役割と実践力 (担当:下山)	講義形式 ○地域包括ケアシステムにおける認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役割に必要な実践力を学ぶ。 ○尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、根拠ある生活支援、チームアプローチ、チーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携、等	
11:30~12:40	4. 介護現場における様々な問題とその要因 (担当:下山)	講義形式と演習 ○職種間連携または組織間に起こりやすい問題、利用者への関わり方や介護観の相違により起きる問題 ●導入講義 20分 ●演習 30分 (自職場での体験をもとに、チームの運	

12:40~13:40	昼食休憩	<p>営に係る課題と要因を抽出し、チームの運営に必要なことを考える)</p> <p>●フィードバック講義 20分</p>	
13:40~14:50	<p>5. チーム運営と職種間連携 (担当: 下山)</p>	<p>講義形式と演習</p> <p>○チームケア・チームアプローチとは何か、チームを構成する各職種の役割・機能の理解、チームにおける介護観・援助目標の共有化、チーム内・職種間の調整、コンフリクトマネジメント、チームメンバーとのコミュニケーション等</p> <p>○ケーススタディ</p> <p>① 他職種との有機的な連携方法</p> <p>② 同一組織内における価値観(介護観・看護間)の相違</p> <p>③ チームメンバーとのコミュニケーション</p> <p>④ 地域生活の支援とコミュニケーション</p> <p>●導入講義 20分</p> <p>●演習 30分 (事前課題のレポートを相互に紹介し合い、そこからチーム運営・職種間連携の課題を抽出していく)</p> <p>●フィードバック講義 20分</p>	<p>介護職一般の問題よりも、職種間連携や介護職チーム運営、後輩育成等、チームリーダーとして直面する問題に焦点を当て理解を進めていく。</p> <p>テキスト『認定介護福祉士概論』</p>
14:50~15:00	休憩		
15:00~16:30	<p>6. チーム運営と求められるリーダーシップ (担当: 下山)</p>	<p>講義形式と演習</p> <p>○リーダーシップ</p> <p>・中堅職員やユニットリーダーに求められるリーダーシップと認定介護福祉士に求められるリーダーシップの違いについて学ぶ。</p> <p>・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているのかを</p>	<p>テキスト『認定介護福祉士概論』</p>

<p>16：30～17：00</p>	<p>7. 研修の振り返りと事務 連絡 (担当：下山)</p>	<p>自覚する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 20分 ●演習 30分 (中堅職員・ユニットリーダーに求められるリーダーシップ、認定介護福祉士に求められるリーダーシップの相違点とは?) ●フィードバック講義 20分 ●一日の振り返り 20分 ●終了課題と提出方法の説明 10分 	
--------------------	---	---	--